

令和6年度

和歌山市文化表彰



和歌山市

和歌山市文化表彰式

と き 令和6年(2024年) 11月3日(日) 午後1時30分から

ところ 和歌山城ホール 大会議室

開 会

国歌斉唱

市歌斉唱

主催者あいさつ

功績紹介

表彰状授与

各章贈呈

祝 辞

来賓紹介

選考委員会委員紹介

昨年度までの受賞者紹介

受賞者代表あいさつ

祝典曲演奏

閉 会



ごあいさつ

和歌山市長 尾花 正 啓

秋の深まりと冬の足音が交差し、情趣に満ち溢れた佳き日に、令和6年度和歌山市文化表彰式典の日を迎えることができましたことを、誠に喜ばしく心からお祝い申し上げます。

本表彰は昭和57年の創設以来、本市の文化の向上と発展に顕著な功績のある方々を顕彰し、本年度で43回目を迎えました。

本年度受賞されます皆様方には、その輝かしい栄誉を心からお祝い申し上げます。皆様方は、それぞれの分野において、たゆまぬ努力と精進を重ねられた結果、本市はもとより我が国の文化の向上・発展に多大なる功績を残された方々でございます。その輝かしい功績の数々は、本市の誇りであり、皆様方のあふれる英知と不断の研鑽に対し深く敬意を表する次第です。

本年、聖武天皇が和歌の浦へ行幸されてから1300年という歴史的な節目の年を迎えました。和歌の聖地として歴史を重ねきた本市では、この記念すべき年を契機として、文化芸術の華が咲き誇り、地域に活力をもたらしています。

多彩な魅力を発信し、多くの方に体感していただくことで、文化芸術活動も活気を増しております。こうした機運の高まりを大切にし、ここ和歌山の地で悠久の歴史を刻んできた本市の文化芸術の財産を郷土の誇りとして、引き続きその発展と継承に努めてまいりますので、皆様の変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、受賞者の皆様のさらなるご活躍と、ご臨席の皆様方のご健勝を心よりお祈り申し上げます、挨拶の言葉といたします。

令和6年度

文化賞 文化功勞賞 文化奨励賞受賞者

文化賞



氏名 あらい さだこ 新井 貞子
現住所 和歌山市
出身地 和歌山県海草郡下津町
(現海南市)
生年 昭和19年

マリンバ奏者

業績及び経歴

大阪音楽大学附属高等学校を経て、昭和42年に同大学音楽学部器楽学科打楽器専攻を卒業。これまでに小川順子、小川雅弘、山高哲誠、朝吹英一、平岡養一の各氏に師事する。

昭和42年にデビュー演奏会である「第1回マリンバリサイタル」を開催。爾来、昭和51年、昭和53年には、関西マリンバ協会ジョイントリサイタル、昭和58年、昭和63年、平成4年には、同協会創立の記念コンサート、平成18年には、大阪いずみホールでの「ミズノ・マリンバの世界」に出演するとともに、大阪音楽大学オーケストラ、関西フィルハーモニー管弦楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団など、関西の主要オーケストラと協演し、本市におけるマリンバの第一人者として精力的な演奏活動を続けている。とりわけ、昭和62年の和歌山県民文化祭の「マリンバアンサンブルWAKAYAMA」、平成6年の世界リゾート博の「マリンバアンサンブル」、平成8年の和歌山市音楽芸術フェスティバルの「新井貞子マリンバの世界」、「紀の国わかやま文化祭2021」のマリンバと炭琴とのコラボレーションや市民文化まつりへの長年にわたる参加など、本市の音楽文化のさまざまな場面での活躍に目覚ましいものがある。

また、自身の演奏活動と並行して、昭和46年に始まった和歌山県民文化会館主催の「クリスマスチャリティーコンサート」を契機に、平成24年に紀伊半島を襲った大規模土砂災害の被災地支援、東日本大震災やアジアの子どもたちへの支援など、さまざまなチャリティーコンサートに参加を続け、音楽を通じた社会貢献活動に積極的に取り組むほか、幼稚園・保育園に通う子どもたちへ音楽リズムを教えるなど、後進の指導にも力を注いでいる。

マリンバの魅力は、快い木の音色にあり、それを心行くまで楽しんでほしいという思いが込められた氏の長年にわたる演奏活動、社会貢献活動、後進の指導は、マリンバの普及と本市の音楽文化の振興・発展に大きな役割を果たし、その功績は極めて顕著である。

現 在

マリンバ・エミール主宰

日本マリンバ協会賛助会員

日本クラシック音楽コンクール審査員

和歌山アーティストバンク登録アーティスト

主な受賞歴

平成6年 平成6年度和歌山県文化奨励賞

平成19年 平成19年度和歌山市文化功労賞

同年 平成19年度地域文化功労者文部科学大臣表彰

文化功労賞



氏名 おかべ 岡部 たかし
現住所 東京都
出身地 和歌山市
生年 昭和47年

俳優

業績及び経歴

高校卒業後、24歳で役者を志して上京。「劇団東京乾電池」に所属する。劇団退団後は、CMディレクター・脚本、演出家の山内ケンジ氏がプロデュースする「城山羊の会」公演をはじめ、数多くの公演に出演する。

NHK大河ドラマでは、平成22年放送の「龍馬伝」を皮切りに、「八重の桜」「真田丸」「西郷どん」と出演を重ね、令和3年放送の「青天を衝け」では渋沢栄一の盟友である大倉喜八郎を演じた。

令和4年放送のドラマ「エルピス－希望、あるいは災い－」では、プロデューサー村井喬一役を演じ一躍その名が広まった。

令和6年度前期放送のNHK連続テレビ小説「虎に翼」では、主人公の父という重要な役柄を演じており、令和5年度後期放送「ブギウギ」から2期連続での出演を果たしている。

近年は、ドラマ、映画、舞台、CMと幅広く活躍するとともに、自身が立ち上げた演劇ユニット「切実」では役者のほか演出も手掛ける。

特筆すべきは、NHK大河ドラマや連続テレビ小説へ継続的に出演している点である。時代劇から現代劇まで幅広い役柄を演じ、その演技力と表現力は高い評価を得ている。また、舞台俳優としての経験を生かし、演劇ユニットの立ち上げや演出活動にも精力的に取り組んでいる。このような多彩な活動を通じて示された卓越した表現力と、テレビドラマや映画、舞台芸術の分野における顕著な功績は、高く評価されるものである。

現 在

株式会社クリオネ所属

文化功労賞



氏名 てらし かずみ 寺西 一巳
現住所 和歌山市
出身地 和歌山市
生年 昭和40年

ヴァイオリニスト

業績及び経歴

城北小学校2年生の時にヴァイオリンを始め、伏虎中学校、桐蔭高等学校を経て、京都市立芸術大学音楽学部弦楽専攻を卒業。これまで、ヴァイオリンを岸邊百百雄、東儀祐二、久合田緑、澤和樹、田井美千代、吉永清子、小形啓子、多田忠二郎の各氏に、室内楽を上村昇、亀田美佐子の両氏に師事する。

平成2年に渡欧し、ウィーン国立音楽大学において、ヴァイオリンをクラス・メツツル、ヨゼフ・ヘルの両氏に師事する。平成5年にオーストリアの州立チロル交響楽団に入団し、在団中はオーケストラ活動の他に室内楽やレコーディングでも活躍する。平成10年に帰国した後は、ピアノに小林道夫氏を迎えてのリサイタルをはじめとして、関西を中心にソロや室内楽の活動を行い、テレマン室内管弦楽団のソリストやコンサートマスター、大阪交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、奈良フィルハーモニー管弦楽団、アンサンブル神戸、アマービレフィルハーモニー管弦楽団のゲストコンサートマスターなど多彩な活動を続けており、現在は、奈良フィルハーモニー管弦楽団、和歌山フィルハーモニー管弦楽団、KOBEバッハ合奏団のコンサートマスターやアンサンブル・アルビレオの指導者、尼崎市民交響楽団の指揮者として手腕を発揮している。

また、平成30年、令和元年、令和3年に小林道夫氏と開催したデュオリサイタルは好評を博し、平成25年には、ソリストとして和歌山市交響楽団と協演するとともに、紀の国わかやま文化祭2021では、(公社)日本アマチュアオーケストラ連盟・和歌山市交響楽団主催「オーケストラの祭典」や和歌山市民オペラ協会主催「稲むらの火の物語－梧陵と海舟」のコンサートマスターとして尽力するなど、本市音楽文化の振興に多大な貢献をしている。

現 在

特定非営利活動法人奈良フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター

一般社団法人和歌山フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター

KOBEバッハ合奏団主宰・コンサートマスター

アンサンブル・アルビレオの指導者

尼崎市民交響楽団指揮者

MBS こども音楽コンクール審査員

文化奨励賞



氏名 小寺 香奈
現住所 和歌山市
出身地 大阪府
生年 昭和52年

ユーフォニアム奏者

業績及び経歴

12歳からユーフォニアムを始める。

平成12年に東京藝術大学音楽学部器楽科ユーフォニアム専攻を卒業。これまでに、ユーフォニアムを稲川榮一、外園祥一郎、三宅孝典の各氏に師事する。

大学卒業後、埼玉県警察音楽隊でユーフォニアム奏者として勤務した後、東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程において音楽文化学を専攻。平成18年より各地でリサイタルを開催し、平成20年からは同時代の作曲家と協働して多くの新作の初演を行っており、平成26年には「ディスカバリー・ユーフォニアム」という新しいリサイタルシリーズを開始してユーフォニアムのレパートリーの開拓に積極的に取り組んでいる。

現在はソロや室内楽で活動するほか、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、大阪フィルハーモニー管弦楽団など国内の主要オーケストラやオオサカ・シオン・ウインド・オーケストラなどの吹奏楽団への客演を重ねており、令和3年の角田鋼亮指揮セントラル愛知交響楽団の公演では、世界初演となる山本裕之作曲の「ユーフォニアム協奏曲」のソリストとして共演を果たし好評を博す。

また、演奏会活動のほか、上野学園大学などの非常勤講師や東京藝術大学アトリエゾンセンターの学術研究員を務め、平成24年から和歌山大学教育学部講師、平成25年から准教授として音楽教育に携わり、平成25年から平成26年にかけて同大学の教職員海外派遣によりドイツのケルンにおいて、アンサンブル・ムジークファブリックやケルン音楽舞踏大学で研鑽を積む。

氏は、演奏会活動と教育の両面において、本市音楽文化の振興に大きく貢献しており、今後の更なる活躍が期待される。

現 在

和歌山大学准教授

日本管楽芸術学会会員

日本音楽表現学会会員

日本音楽教育学会会員

主な受賞歴

令和5年度 令和5年度公益財団法人大桑教育文化振興財団大桑文化奨励賞

CDアルバム

平成28年 ディスカバリー・ユーフォニアム

文化奨励賞



団体名 わかやまけんふくわじゆつきょうかい 和歌山県腹話術協会
創立 昭和55年
代表 宮本 敏企
所在地 和歌山市

腹話術

業績及び経歴

和歌山県腹話術協会が発足した契機は、本市の小学校において給食を担当していた教諭が子どもたちの偏食や食べ残しの解消のために考え付いた「腹話術」による授業であり、腹話術の第一人者であった川上のぼる氏の指導を受けて始まった。その授業が広がりをもち、小学校教諭、保育士、消防士、主婦、自治体職員など多彩な顔ぶれ9名により本協会が設立された。

本協会は、会員の発表会として、毎年「腹話術の祭典」を開催し、日頃からの腹話術のスキルを磨くほか、講習会などを開いて腹話術の普及活動を継続して行っている。なお、「腹話術の祭典」は協会設立の翌年である昭和56年に第1回を開催し、本年度で第42回を迎えた。

さらに、本協会は高齢者施設等への訪問公演を通じて、腹話術の魅力を幅広い層に伝えている。高齢者を対象に、敬老会や食事会その他様々な機会に腹話術を披露しており、これらの活動は高齢者の文化活動促進にも寄与している。このように、本協会は地域における文化の裾野を広げる重要な役割を果たしている。

また、平成26年に和歌山市市民公益活動団体に登録することで、芸能・娯楽としてだけでなく、小学校や高齢者施設など各種施設への訪問活動を行い、腹話術を通して人権・防災・交通安全の語りかけを続けており、その功労により令和4年に和歌山県知事表彰を受けている。

本協会の40年以上にわたる継続的な活動は、地域文化の発展と社会教育の推進に多大な貢献をしている。腹話術という独特の表現方法を通じて、教育現場での食育から地域の安全啓発まで、幅広い分野で社会に寄与してきた功績は極めて顕著であり、高く評価される。

現在

和歌山市市民公益活動団体

主な受賞歴

平成25年 和歌山県社会福祉協議会会長表彰

平成27年 和歌山県知事感謝状

令和4年 和歌山県知事表彰

昨年度までの受賞者一覧表

〈昭和57年度〉

文化賞	杉本 謙 (ヘンリー杉本)	洋画家
文化功労賞	清水 達三	日本画家
文化奨励賞	岡田 昭子 (杉谷 昭子)	ピアニスト
	澤 和樹	ヴァイオリニスト

〈昭和58年度〉

文化賞	森 蘊	庭園研究家
文化功労賞	木下美代子	文学者
	山本 恵子 (真舟)	書道家
文化奨励賞	松井 彬	能楽師 (喜多流)

〈昭和59年度〉

文化賞	藤岡 通夫	東京工業大学・日本工業大学名誉教授
文化功労賞	清水喜代子 (吉村雄輝代)	日本舞踊家
	亀 勝人 (忠男)	写真家
文化奨励賞	杉原真理子	声楽家

〈昭和60年度〉

文化賞	樋口 隆康	京都大学名誉教授・泉屋博古館長
文化功労賞	浜 光治	医師 (文化団体代表)
	本谷 惣山	邦楽家
文化奨励賞	宇治田敏昭	劇団主宰

〈昭和61年度〉

文化賞	福島 ひさ (竹本 住友)	女流義太夫
文化功労賞	北原 雄一	作曲家
文化奨励賞	和歌山児童合唱団	

〈昭和62年度〉

文化賞	中村 善種	洋画家
文化功労賞	和歌山文化協会	

〈昭和63年度〉

文化功労賞	寺中 靖直	洋画家
	中沼 洋子	バレエ
文化奨励賞	和歌山市民合唱団	

〈平成元年度〉

文化賞	寺口秀太郎 (関山)	日本画家
文化功労賞	山本 秀臣	洋画家
	荊木 淳己	郷土文学研究家
文化奨励賞	岡崎由美子	洋画家

〈平成2年度〉

文化賞
文化功労賞

中西 久夫 (神坂 次郎)
伊藤 孝文
大谷 滢 (煌洲)
金崎二三子

作家
郷土文学作家
吟詠家
舞踊家

〈平成3年度〉

文化賞
文化功労賞
文化奨励賞

大岡 繁 (皓崖)
宇治田正子
岡田 脩 (脩克)
中沼 利花

書道家
能楽師
華道家
洋舞家

〈平成4年度〉

文化賞
文化功労賞

橘 喜久雄
和中 光次
高野 澄子
西田 隆 (杵屋勘寿郎)

洋画家
歯科医師 (文化団体代表)
創作刺繍作家
三味線奏者

〈平成5年度〉

文化賞
文化功労賞

稲垣 耕 (伯堂)
南垣内文平 (泰甫)
小橋 幸子 (藤間蔦喜久)
田川 寿美

日本画家
華道家
日本舞踊家
歌手

〈平成6年度〉

文化賞
文化功労賞

清水 達三
坂田 泰一
森川 隆之
和歌山市吹奏楽団

日本画家
版画家
作曲家

〈平成7年度〉

文化賞
文化功労賞

池田 貢 (式守伊之助)
デイビット・ハリソン・アーナー
井上 務 (木州)
小川加代子 (華瓣)

伝統文化 (立行司)
国際交流
書道家
水墨画家

〈平成8年度〉

文化賞
文化功労賞
文化奨励賞

津本 寅吉 (陽)
藺田 香融
原 博子 (玉置 博子)

作家
文学博士
ピアニスト

〈平成9年度〉

文化賞
文化功労賞

島村 安彦
有井 新平 (潭洲)
岡田 昭子 (杉谷 昭子)
岡崎団七踊保存会

写真家
吟詠家
ピアニスト
無形民俗文化財

〈平成10年度〉

文化賞
文化功労賞

小林 慶三
児嶋 義一
西本 正治
木ノ本の獅子舞保存会
清水加代子（香予子）

能楽師（観世流）
洋画家
郷土文化財研究家
無形民俗文化財
声楽家（シャンソンヴォーカル）

〈平成11年度〉

文化賞
文化功労賞

山本 恵子（真舟）
宮村 泰彦
西村 歌子（萌雲）
岩倉流泳法保存会
青木 進

書道家
洋画家
華道家
無形民俗文化財
作曲家

〈平成12年度〉

文化賞
文化功労賞

澤 和樹
宇治田豊子（竹垣みとよ）
まつい のりこ
木下 伸市
黒潮・躍虎太鼓保存会

ヴァイオリニスト
新舞踊家
絵本・紙芝居作家
津軽三味線奏者
和太鼓

〈平成13年度〉

文化賞
文化功労賞
文化奨励賞

岡田 昭子（杉谷 昭子）
松井 彬
田中 博行（S A B U）

ピアニスト
能楽師（喜多流）
映画監督・俳優

〈平成14年度〉

文化賞
文化功労賞

小池 洋一
久馬 規正
小川加代子（華瓣）
岡谷かおり
和歌祭保存会

地理学者
茶道家
水墨画家
作曲家・ピアニスト
郷土文化

〈平成15年度〉

文化賞
文化功労賞

藺田 香融
藤戸 輝一
仁科 實
岩城 久子
示現会和歌山支部

歴史学者
写真家
水彩画作家
日本画家
洋画団体

〈平成16年度〉

文化賞
文化功労賞

高野 澄子
岩橋 延直
中谷 幸
宮崎 幸子
和歌山市交響楽団

創作刺繍作家
歯科医師（文化団体代表）
七宝作家
洋画家
オーケストラ

〈平成17年度〉

文化賞
文化功労賞

児嶋 義一
辻 賀代子 (つじ加代子)
名手 隆子 (朱舟)
西島 麻子
とらふす少年少女合唱団

洋画家
俳人・エッセイスト
書道家
作編曲家・ピアニスト
合唱

〈平成18年度〉

文化賞
文化功労賞

伊藤 孝文
リーランド・R・ラトレル
坪井 章訓 (澁洲)
西 陽子
木國文化財協会

郷土文学研究家
国際交流
吟詠家
箏奏者
郷土文化

〈平成19年度〉

文化賞
文化功労賞

亀 勝人 (忠男)
勝本 奄子 (翠芳)
新井 貞子
宮下 直子
和歌山雅楽会

写真家
書道家
マリンバ奏者
ピアニスト
雅楽

〈平成20年度〉

文化賞
文化功労賞

松井 彬
坂田 稔
細島 清一 (静峰)
西中 千人
劇団ZERO

能楽師 (喜多流)
写真家
書道家
ガラス造形作家
劇団

〈平成21年度〉

文化賞
文化功労賞

三尾 功 (八朔)
駒井 則彦
斉藤 言子
徳田 直季
わかやま絵本の会

近世地方史研究家
医学博士 (文化団体代表)
声楽家
写真家
郷土絵本発行

〈平成22年度〉

文化賞
文化功労賞

岡田 脩 (脩克)
倉田 純三
由木 毅
山本 通広 (桂 枝曾丸)
演劇集団和歌山

華道家
洋画家
写真家
落語家
劇団

〈平成23年度〉

文化賞
文化功労賞
文化奨励賞

森川 隆之
池下 章裕
村田 千佳
南葵史談会

作曲家
CGイラストレーター
ピアニスト
郷土史研究

〈平成24年度〉

文化賞
文化功労賞
文化奨励賞

及川 眠子
一般社団法人和歌山青年会議所
土井 久幸
水軒の浜に松を植える会

作詞家
地域・文化活動
洋画家
文化財保護活動

〈平成25年度〉

文化賞
文化功労賞
文化奨励賞

三浦 圭子（啓子）
神保 和彦
加藤佐喜子（芳榮）
岡本 玲
NPO紀州お祭りプロジェクト

ガラス造形作家
歌手・歌謡指導者
吟詠家
女優
地域・文化交流

〈平成26年度〉

文化賞
文化功労賞
文化奨励賞

小川加代子（華瓣）
井谷 雅三（まさみち）
シルビア・グウォズ
岡田 芳和
特定非営利活動法人
和歌の浦万葉薪能の会

水墨画家
歌人
国際交流
華道家
能・狂言

〈平成27年度〉

文化賞
文化功労賞
文化奨励賞

岩橋 延直
味村 正弘
清水 由朗
上島 幸恵
和歌山ジャズプレーヤーズ協会
（WAJA）

文化活動・国際交流
調理師（フランス料理）
日本画家
声楽家
ジャズ音楽

〈平成28年度〉

文化賞
文化功労賞
文化奨励賞

名手 隆子（朱舟）
兵谷 晶子（杵屋 栄七珠）
森 久美子
北島 佳奈
孫市の会

書家
伝統文化（長唄）
フラメンコ舞踊家
ヴァイオリニスト
地域文化活動

〈平成29年度〉

文化賞
文化功労賞
文化奨励賞

尾崎 好昭（斎晃）
恩田 雅和
西 陽子
寺下真理子
トンガの鼻自然クラブ

版画家（木版画）
文学・芸能研究
箏曲家
ヴァイオリニスト
文化財保護活動

〈平成30年度〉

文化賞
文化功労賞

安田 言子 (齊藤 言子)
小澤 悦子 (小澤 清湖)
多田 佳亓子
中谷 政文
和歌山市語り部クラブ

声楽家
書家
声楽家・演出家
ピアニスト
郷土歴史案内

〈令和元年度〉

文化賞
文化功労賞

杉原 治
永廣 禎夫
木下 伸市 (木乃下 真市)
前田 和紀
玉津島保存会

合唱指揮者
日本文学研究
津軽三味線奏者
映画プロデューサー
文化財保護活動

〈令和2年度〉

文化賞
文化功労賞

HYDE
志賀 啓二
ユズル・ジム・コジマ
高田 友紀子 (たかだ ゆき子)
山東まちづくり会

音楽家
伝統工芸
国際交流
児童文学作家
文化活動

〈令和3年度〉

文化賞
文化功労賞

宮本 勝浩
森本 光子
金子 達雄
宮井 愛子
いきいきシニアわかやま

経済学者
地域文化活動家
化学者
ピアニスト
地域福祉文化活動

〈令和4年度〉

文化賞
文化功労賞

小山 譽城
有吉 玉青
岡崎 由美子
木ノ下 裕一
和歌山フラメンコ協会

歴史学者
作家
洋画家
補綴家、ドラマトウルク
洋舞

〈令和5年度〉

文化賞
文化功労賞

味村 正弘
江田 司
水島 大二
久保 美雪
和歌山市民オペラ協会

食文化 (フランス料理)
指揮者
城郭研究
声楽家
舞台芸術

和歌山市歌

Lento maestosamente

佐藤 春夫 作詞
山田 耕筈 作曲

こ れ な ん か い の し ず め ぞ と ー な
み よ き の か わ の か わ ぐ ち に ー み
あ に ば い え ん を ほ こ ら ん や ー ふ

ん りゅう こ う が こ こ ー ー ろ ざ し ー ひ
ん しゅう た ち て ほ う ー ー け ん の ー ゆ
う こう ゆ か し こ の ー ー あ た り ー た

そ め し し ろ は ふ り に し ー を ー じよ
め ふ き は ら は い あ ら た よ ー の ー と
づ な き わ た る わ か の う ー ら ー こ

う か の い き ー ぞ あ ら た な る ー ほ
し に さ ん ぎよ ー ー う お こ り た り ー ほ
う や の や ま ー も ち か く し て ー ほ

し ー う つ り ー も の か わ る と ー も ー と
し ー う つ り ー も の か わ る と ー も ー と
し ー う つ り ー も の か わ る と ー も ー と

こ わ か の ま ち わ ー か や ま ー し ー
こ わ か の ま ち わ ー か や ま ー し ー
こ わ か の ま ち わ ー か や ま ー し ー

和歌山市市歌

一、これ南海の鎮めぞと
南龍公が志

潜めし城は旧りにしを
城下の意気ぞ新なる

星移り物変るとも
常若の市和歌山市

二、見よ紀の川の川口に
民衆起ちて封建の

夢吹き払い新時代の
都市に産業興りたり

星移り物変るとも
常若の市和歌山市

三、豈煤煙を誇らんや
風光ゆかしこの辺り

鶴鳴き渡る和歌の浦
高野の山も近くして

星移り物変るとも
常若の市和歌山市